

## 人材確保に繋がる人材育成の取組事例について

### 1 ねらい

人材確保に向けた施策を議論し、補助金等にとどまらない取組を検討する方向性が示された中で、具体的に小学生・中学生・高校生に対するキャリア教育に議論が及んだことを踏まえ、取組事例を列挙して、今後の実施施策の参考としていく。

### 2 取組事例 ※現在は終了している場合があります。

#### ●キャリアフェスティバルいといがわ(新潟県糸魚川市)

生徒が地域の働く大人と対話し、自分と地域の未来を考える機会の創出が目的。大人から伝えたい思い「糸魚川での仕事、働く・暮らす」がコンセプト。

市内を中心に事業所が説明・体験ブースを開設。生徒は1事業所 20 分の説明を聞き、働く姿や喜びに触れる場となっている。

(令和4年開催概要) 参加事業所:57社 参加生徒:306人

#### ●こどもわくワーク(島田市:主催クロスメディアしまだ)

小学生が市内の様々なお店や企業で「お仕事」をする体験型イベント。

「お仕事」のあとは疑似通貨「わくマネー」をもらうことができ、まちで使える仕組みとなっている。

#### ●キャリア教育人材バンク(兵庫県神戸市)

子どもたちが勤労観・職業観を育み、社会人として必要な自立性や社会性を身につけるため、バンク登録事業者が出前授業の形で仕事や働くことなどについて話したり、技術を披露したりする。

#### ●人材確保支援事業(富士市)

市内事業所を対象に、小・中学校、高等学校で自社の仕事内容や魅力などを語る授業をコーディネートするもの。

●いわきグローバルアカデミー「いわき志塾」(福島県いわき市)

小・中学生を対象に、各分野のスペシャリストらによる講話やワークショップ等を実施。興味・関心に応じた様々な学びの機会を提供し、活動を通して視野を広げ、地域社会への理解と愛情を深め、生き方や社会の在り方について考えるきっかけづくりの場。

・職業講話ワークショップ

→中央省庁職員やグローバル展開する企業、最先端技術や伝統・文化で活躍する方々を講師として招き、哲学や人間力、生き方に触れて、夢実現のために何をすべきか学び、生き方や社会の在り方を考える。

・未来創造探求事業

→民間企業・団体と連携し、その分野の専門知識やノウハウを生かしたワークショップによって「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームワーク」等の基礎を学ぶ場

●Future 静岡(高校生)

高校生に地域企業で働く、地域で暮らす魅力を発信するプロジェクト。

・ガイドブック(静岡県の企業情報や先輩からのメッセージを掲載)

→県教育委員会を通じ、県内140校の高校2年生全員に配付。

・タブロイド判(静岡県の企業情報や先輩からのメッセージを掲載)

→県教育委員会を通じ、県内140校に配布。7月号は高校3年生、3月号は高校1年生に配付。

・新聞特集(先輩からのメッセージや若者や地域を応援する企業を掲載)

→静岡新聞全件版に掲載。特集や読み物なども掲載している。

・課外授業

→県内企業の経営者や社員のみなさんが講師を務め、高校生に向けて静岡の企業で働く魅力を生の声で伝えている。